

陳 情 文 書 表

5 陳情第 9 号

有機フッ素化合物 (PFAS) への市民の不安を解消するための
 早急な対策を求める 陳情書

趣 旨 (別紙のとおり)

令和 年 2 月 20 日
 (西暦 2023)

陳情代表者	住 所	小金井市前原町 [REDACTED]
	氏 名	小金井の水連絡会 山内美穂 印 ほか 人 (法人の場合は、その名称及び代表者の氏名) (本人署名以外は、押印が必要となります。)
	連 絡 先	([REDACTED]) [REDACTED] - [REDACTED]

発言を申し出ます。

発言者	住 所	小金井市前原町 [REDACTED]
	氏 名	山内美穂
	連 絡 先	([REDACTED]) [REDACTED] - [REDACTED]

(宛先) 小金井市議会議長

主任	第1ガイド 請願・陳情		第2ガイド 陳情		保存年限 5 年		
	受理年月日		令和 5 年 2 月 20 日 11:47				
主任	受付	担当	主任	係長	次長	局長	議長
	渡辺	安藤	/	山浦	小林	北村	鈴木

2023年2月20日

(宛先) 小金井市議会議長

氏名 山内 美穂 (小金井の水連絡会)
住所 小金井市前原町 [REDACTED]
連絡先 [REDACTED]

有機フッ素化合物 (PFAS) への市民の不安を解消するための早急な対策を求める陳情書

多摩地域の有機フッ素化合物 (PFAS) の地下水汚染と人体への影響が、最近の新聞報道やニュースなどで、大きく報じられています。有機フッ素化合物 (PFAS) は、難解性の化学物質で、人体にたまりやすく、毒性が強い有害物質です。欧米の最新の疫学研究では、前立腺がん・精巣がんなど一部のがんのリスク上昇、生殖への影響、コレステロール値の上昇、肥満のリスク、胎児や子どもの発達への影響、免疫力の低下など、健康被害が懸念されています。

その PFAS が多摩地域の浄水所から国の目標値以上の値が確認され、現在も 34 本の井戸で取水停止となっています。京都大学研究室の協力を経て、昨年 11~12 月に市民団体が行った多摩地域の住民の PFAS 血中濃度検査の中間報告では、87 名全員に PFAS が検出されました。小金井市民も 4 名参加し、検出されています。

普段のくらしといのちの基本である「水」にかかわる問題であり、小金井市民のなかにも不安、疑念が広がっています。小金井市、東京都、国の早急な対応が求められています。

以下陳情します。

陳情項目

1. 市内の地下水 (汚染) 状況を把握するため、検査を希望する民間の井戸や湧水について、有機フッ素化合物 (PFAS) を検査項目に入れた水質検査を行い、市としての対応を市民に周知してください。
2. 小金井市の地下水・井戸水の PFAS 汚染源について、都・国と連携を取って原因究明に努めてください。
3. PFAS 汚染拡大の防止や汚染除去など、都と国に対して対策をとることを強く申し入れてください。
4. PFAS について米国やドイツ等の進んだ研究の成果も参考にして、健康維持に必要な水質基準、血中濃度基準値を定めるよう国に求めてください。